

児童福祉施設指導者合同研修

1 目的

児童虐待に関する諸知見を深め、児童福祉施設での適切な援助のあり方を検討し、中心的、指導的な援助者としての資質の向上と各施設相互の理解と連携の促進を図る。

2 テーマ 「児童福祉施設の専門性の向上」「アセスメント」「子どもと親への援助」「他機関との連携」

3 対象

乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設、児童自立支援施設、情緒障害児短期治療施設等で指導的立場にある主任指導員、主任保育士、家庭支援専門相談員、個別対応職員等で、**5年以上の施設経験を有する者**

4 期間 平成20年12月17日(水)～12月19日(金)

5 内容

	時間	科 目	講 師	内 容
1 日 目 午 後	13:00	開 会		
	13:30	【講義1】 アセスメントについて	精神科医師 心理臨床家	受け入れにあたっての情報入手の視点や児童相談所との調整のあり方、職員チーム内でのアセスメントの共有、子どもの成長にともなう見立ての修正、記録の意味など、アセスメントに関する理解を深める。
	15:30			
	16:00	【グループ討議1】	参加者	児童福祉施設の現状と課題、それらに対する対策や工夫などについて意見・情報交換を行う。
	18:00			
	18:15 20:00	【交流会】		
2 日 目 午 前	9:30	【講義2】 施設におけるファミリー・ソーシャル・ワークについて	学識者	子どもや家族を支援していく上で、児童相談所など関係機関との協働は不可欠であるが、様々な課題もある。課題を整理し、より良い協働のあり方について理解を深める。
	12:00			
2 日 目 午 後	13:00	【シンポジウム】 子どもの未来像を描く	参加者	施設入所を経て自立を果たし、社会で健全に生活しているケースは少なくない。こうした複数の事例に触れ、施設に在籍している子ども達の未来像を描く一助とする。また、援助者が希望を失わず、子どもの未来に希望を抱くことが、援助者と子どもの双方に重要であることを理解する。
	14:45			
	15:15	【グループ討議2】 関係機関との連携	参加者	児童相談所を中心に関係機関との協働における現場の課題や対応の工夫について検討する。
	17:00			

3 日 目 午 前	9:30	【事例検討1】 子どもと親への援助(1)	報告：参加者 助言：児童精神科医 心理臨床家	児童虐待ケースについて、援助が困難であったケースあるいは比較的上手くいったケースについて検討する。6グループの内、3グループが一緒になって事例検討を行う。
	12:00	【事例検討1】 (小グループ)	報告：参加者 進行：児童福祉施設 職員、 心理臨床家	上記の内容のケースについて、残った3グループは分かれて、別の事例を検討する。
3 日 目 午 後	13:00	【事例検討2】 子どもと親への援助(2)	報告：参加者 助言： 事例検討1に同じ	上記の内容のケースについて、事例検討1(小グループ)で別々だった3グループが一緒になり、午前とは別の事例について検討を行う。
	15:30	【事例検討2】 (小グループ)	報告：参加者 進行： 事例検討1(小グループ)に同じ	上記の内容のケースについて、事例検討1で一緒だった3グループが分かれて、グループごとに別の事例を検討する。
	16:00	終	了	